

## ★ファミリーアワー

「ファミリーアワー」は、幼児から小学校低学年のお子様連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。今晚の星空はもちろん、宇宙旅行や冒険にもでかけます。初めてプラネタリウムをご覧になるという方もおすすめです。

日時によっては、子ども会などでの団体予約も可能です。詳しくはお問い合わせください。

4/ 1 ~ 『太陽系アドベンチャー』  
 7/16 ~ 『はるかなる星の世界へ』  
 12/10 ~ 『オリオンとすばるぼし』  
 3/18 ~ 『太陽系アドベンチャー』

## 観覧料

種類	区分	展示室とプラネ	展示室のみ
観覧券 (当日1回)	大人	800円	400円
	高大生	500円	200円
	団体	20名から(有料30名以上1割引・100名以上2割引)	
定期観覧券 (1年間有効)	大人	3,200円	1,600円
	高大生	2,000円	800円

\*中学生以下は無料です。\*大学生・高校生は学生証が必要です。  
 \*特別展など別料金が必要な場合があります。

展示室観覧時間 午前9時30分～午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)

## 休館日

毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日、5/2、8/15は特別開館)  
 毎月第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日、8/19は特別開館)  
 年末・年始(12/29～1/3)  
 臨時休館日 5/10(火)、9/6(火)、9/7(水)  
 9/8(木)、9/9(金)は閉館しておりますが、  
 プラネタリウムのみ休演いたします。

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号  
 (芸術と科学の社・白川公園内)

TEL: 052-201-4486 FAX: 052-203-0788

http://www.ncsm.city.nagoya.jp/

この用紙は古紙/パルプを含む再生紙を使用しています

## ★インフォメーション

2016.4～2017.3

投影スケジュール(投影時間は約50分間です)

表は基本パターンです。都合により内容変更や休演の場合があります。

	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40
日曜・祝日 夏休み	一般	ファミリーアワー	一般	ファミリーアワー	一般	一般
土曜日 春・冬休み	一般	一般	一般	ファミリーアワー	一般	一般
平日	学習※ 一般	学習※ 一般	学習※ 一般	一般	一般	一般

春休み: 2016/4/1～4/5、2017/3/25～3/31

夏休み: 2016/7/21～8/31 冬休み: 2016/12/23～2017/1/6

★詳しくは当館ホームページの「投影スケジュール」をご確認、またはお問い合わせ下さい。

★定員の一部に団体(学校団体も含む)が入ることがあります。

※平日の10:00の回、11:20の回、12:40の回については時期により学校団体向けの学習投影を行います。学習投影は、一般の方はご覧いただけませんのでご了承ください。

★伏見からたった5分の別世界★

名古屋市科学館・プラネタリウム



## 広告

brother  
at your side

# Brother Earth

ブラザーアース

プラネタリウムの愛称である「Brother Earth」は  
 ブラザーグループが掲げる環境スローガンです。  
[www.brotherearth.com](http://www.brotherearth.com)  
 ブラザーは、名古屋市のネーミングライツ・パートナーです。

Brother Earth  
よりよい地球環境を、あなたとともに。 **ブラザー工業株式会社**

# プラネタリウム・年間ガイド

## 2016.4～2017.3

### 名古屋市科学館

デジタル式プラネタリウム  
 スカイマックス DS II



光学式プラネタリウム  
 ユニバーサルルーム IX 型

名古屋市科学館のプラネタリウムは、2011年にリニューアルしました。世界最大の35mドームに映し出される限りなく本物に近い星空と、最新のデジタル映像による宇宙体験、そして学芸員による生解説をお楽しみ下さい。

直径35mドーム 350席のリクライニング&回転シート



Brother Earth(ブラザーアース)は、  
 プラネタリウムドームの愛称です。

Brother Earth  
 ブラザーアース

## ★一般投影

今夜の星の探し方から、その時々天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方むけに、学芸員が生で解説します。

### 4月 『ニュートリノの謎をとく』

2015年のノーベル物理学賞は「ニュートリノ振動の発見」によるものでした。それを観測したスーパーカミオカンデの内部をドーム内に再現し、宇宙とのかかわりについてお話しします。

### 5月 『太陽系の生命探査』

火星はわずかながら水や空気があり、地球に似た環境の惑星といえます。また、太陽から遠く離れた木星や土星の衛星にも水が見つかっています。果たして生命はいるのでしょうか。

### 6月 『土星の環が見たい』

今年の土星は初夏から夏休みにかけてが観望のチャンスです。大人気の土星の環は、ごく簡単な望遠鏡でも見られます。望遠鏡を手に入れてスターウォッチングを楽しんでみませんか？

### 7月 『七夕と天の川』

夏の夜空で織姫星と彦星を隔てている天の川は、私たちがいる銀河系を内側から見た姿です。プラネタリウムで宇宙旅行に出かけて、天の川を外側から眺めてみましょう。

### 8月 『火星のふしぎな動き』

この夏は赤い惑星・火星がさそり座付近にやってきて、赤い一等星アンタレスと並びます。アンタレスは「火星の敵」という意味で、文字通り、赤い星同士の対決の年となるのです。

### 9月 『暦と名月』

中秋の名月のお月見の日は、じつは必ずしも満月になるとは限りません。今年はお月見の2日後にやっと満月となるのです。この不可解な暦と名月の関係をひもときます。

### 10月 『国際宇宙ステーション』

国際宇宙ステーションは上空400kmの軌道上を周回する世界最大の人工衛星で、タイミングさえ合えば肉眼でも簡単に見ることができます。その歴史や役割、見つけ方を紹介します。

### 11月 『宇宙138億年』

宇宙の始まりの大爆発の名残りが、かすかな温もりとして宇宙に満ちています。これを精密に調べることによって、宇宙がいつ、どのようにして生まれたのかが分かってきました。

### 12月 『クリスマスの星空』

クリスマスツリーの頂上には星が飾られます。また、クリスマスが12月下旬になったのは、太陽の動きと密接な関係があります。クリスマスと宇宙の関わりについてお話しします。

### 1月 『星の誕生』

太陽は46億年前に生まれました。夜空の星々にもそれぞれに始まりがあります。宇宙に薄く広がった物質が、やがて集まって星になるのです。その不思議なプロセスをたどります。

### 2月 『X線でみる宇宙』

ブラックホールや超新星の残骸は、高エネルギーのX線を出しています。このX線は地上まで届かないため人工衛星で観測するのですが、この分野で日本は世界をリードしています。

### 3月 『双子の星物語』

昔から人々は星空を見上げ、そこにさまざまなドラマを想像してきました。星座の物語としてよく語られるのはギリシャ神話ですが、日本にも素敵な星の物語が残されています。

## ★その他

その他に、幼児、小4、小6、中学生団体むけの学習投影、字幕付きプラネタリウムなど、さまざまな投影がございます。詳しくは下記の名古屋市科学館ホームページをご覧ください。

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

## ★夜間投影 (18:30 ~ 19:45)

— 申込制 —

夜6時半からの大人限定の投影です。七夕やお月見など、その時々ちなんだ天文の話題を取り上げる場合（テーマが「～の夜」）と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合があります。各回のテーマをご確認の上、お申し込み下さい。

人数：350人

料金：700円

対象：高校生以上、大人限定です。中学生以下は乳幼児を含めて入場できません。

申込：往復はがきに、希望日（○月△日）、代表者住所、氏名、電話番号、希望人数と全員の氏名（5名まで）、返信あて名を記入して、名古屋市科学館「○月△日夜間投影」係までお申し込みください。応募多数の場合は抽選になります。

「夜間投影のテーマ」	
開催日	受付開始日～ 申込締切日（必着）
「太陽系の生命探査」 5月13日（金）	4/1～ 4月22日（金）
「国際宇宙ステーションの夜」 6月3日（金） 6月4日（土）	5/1～ 5月14日（土） 5/1～ 5月14日（土）
「七夕の夜」 7月7日（木）	6/1～ 6月16日（木）
「旧暦七夕の夜」 8月9日（火）	7/1～ 7月19日（火）
「お月見の夜」 9月15日（木）	8/1～ 8月25日（木）
「宇宙138億年」 11月11日（金）	10/1～ 10月21日（金）
「クリスマスの夜」 12月23日（金・祝） 12月24日（土）	11/1～ 11月30日（水） 11/1～ 11月30日（水）
「星の誕生」 1月13日（金）	12/1～ 12月22日（木）
「オーロラの夜」 2月18日（土） 2月19日（日）	1/4～ 1月28日（土） 1/4～ 1月28日（土）